

## ■ ユダヤ人とパン

ユダヤ人にとってパンは、主食の食べ物でした。当時のイスラエルは食糧に恵まれた環境ではありませんでした。また、経済的にも裕福ではありませんでした。それで、多くの人々は食べることを大事に思っていました。ユダヤ人にとってパンは、命のために必要なものだったのです。

## ■ メッセージのポイント

前の個所で、イエス様は群衆に言いました。

「あなたがたが求めるパンと、わたしが与えるパンは違うものです。」

群衆はこの言葉の意味が理解できませんでしたが、パンを求めてイエスに言いました。

「主よ、そのパンをいつも私たちにお与えください。」

イエス様はご自分が与えるパンについて、3つのことを教えています。

- (1) わたしがいのちのパンです。これを求める人は、わたしのもとに来て、信じなさい。そして、このパンを食べなさい。
  
- (2) 父がわたしに与えてくださる人はみな、わたしのもとに来ます。父が引き寄せてくださらなければ、だれも来ることはできません。
  
- (3) わたしのもとに来る人を、わたしは終わりの日によみがえらせます。一人も失いません。そのすべての人のために、わたしのいのちを与えます。